



学校や 保育園・幼稚園などの取組

29年度に実施した取組

取組名

おもてなし

実施団体名

神奈川県立麻生養護学校

取組内容

実施内容

- 注文をとり茶菓をテーブルまで持っていくサービス役と、お菓子と飲み物を用意する配膳役と、テーブルで茶菓の注文をして飲食するお客役に分かれて、ローテーションでそれぞれの役を経験します。

目的

- ① 茶菓を提供する前に、衛生（手洗い、マスク・エプロン着用、テーブル拭き）を意識します。

手洗いを励行していても、きれいに洗うのが難しいので、手洗いチェッカーを使用して、洗い残しを視覚的に意識することで、食べ物や飲み物を扱う際の衛生面に、より一層注意が向くようになります。

- ② 注文のやりとりや茶菓提供などを通して、友達とコミュニケーションを図ります。

来客（クラスメートや先生がお客役）に食べ物や飲み物を提供した時に感謝されたり、ほめられたりすることで、自分が与える喜びを感じることができ、他者を意識することにつながります。

食べることは生きる力、その飲食を通して、衛生面に気をつけることは健康な生活や身辺自立に向けて必要な力となります。「ください」「どうぞ」「ありがとう」などのやりとりを通して、コミュニケーション力をつけていくことにつながります。子どもたちが、与える、もてなすことに喜びを感じられるようにしていくことがねらいです。

団体の紹介

開校 12 年目「インクルージョンを目指す学校」を基本理念として掲げ歩んできました。王禅寺にある本校の他に、県立元石川高校の中に、高等部の分教室、重症心身障害児施設「ソレイユ川崎」の中に施設訪問のひまわり学級、在宅訪問があります。ボランティアの方々は、年間延べ 900 名近くにのぼり、子どもたちの教育活動を見守ってくださいます。

ヴァイオリニスト五島みどり氏のご協力により、音楽グループに楽器と指導者の提供を受け、12 年間授業を続けてくることができました。昭和音楽大学を始め近隣の大学の協力も多岐に渡っています。最近では、「一般社団法人 canawell（カナウェル）」様の協力で、ダンス等の活動も加わりました。王禅寺町内会や虹ヶ丘自治会、その中にある小中学校や地域の施設も、教育活動を支えていただいております。

団体連絡先

住 所 川崎市麻生区王禅寺 303-1
電 話 044-980-4855 / ファクシミリ 044-986-2517
メー ル asao-sh@pen-kanagawa.ed.jp
H P <http://www.asao-sh.pen-kanagawa.ed.jp/>

取組名

お米の栽培 ～おにぎりパーティー～

実施団体名

川崎市宮前区中有馬保育園

取組内容

5歳児クラスはお米の栽培に取り組みました。6月の田んぼ作りから始まった米作り。どろどろの田んぼを足でしろかきし、「冷たい」「気持ちいい」と独特の感触を楽しみました。夏の間は水やり、9月にはかかしを作って稲穂を見守り、10月に無事に稲刈りをしました。



その後は自分たちで脱穀、すり鉢でもみすり。「お米屋さんってみんなこうやっているの?」「すごく大変!」「でも楽しいねえ」と言いながら、みんなでがんばりました。その結果、およそ1合の玄米を収穫することができたので、11月におにぎりパーティーを行ないました。

当日は、午前中に栄養士の紙芝居により田植から収穫までの振り返りと、お米の栄養について話を聞きました。収穫した玄米は保育室で炊飯し、炊き上がりまでの香りを楽しみました。「いいにおい」「ごはんの匂いだあ」と、子どもたちのワクワクも高まります。

給食室で炊いた白米のごはんと混ぜ合わせ、一人ずつ自分のおにぎりを作りました。まんまるのおにぎりや、ちょっと三角にしてみたり思い思いの形のおにぎりができました。白米の中の玄米を「ぶちぶちしてる」「甘い味がする」など、十分におにぎりを味わいました。ふだん普通に食べているお米が、食卓に上がるまでの手間と時間を少し実感することができました。



団体の紹介

川崎市公設公営、定員120名の保育園です。子どもにとって生活の場と感じられるよう、家庭的な環境を大切にしています。

団体連絡先

川崎市宮前区中有馬保育園

住所 宮前区有馬3-2-10

電話/ファクシミリ 044-854-0425

平塚市

取組名

7日間の食習慣調査と苦手な食べ物を克服するための紙芝居作成

実施団体名

県立平塚農業高等学校 食品科学科3年生

取組内容

- 3年生の総合学習の授業内において、高校3年生（72名）を対象に、連続した7日間の朝・昼・夕の三度の食事と間食の内容を、内食・中食・外食の分類と伴に記入させた。
- 4名位で1つの班をつくり、班ごとに食事内容を分析して、発表させた。
- 全ての班に共通する項目を取りあげて、「現状の高校生」とした。
- 現状の高校生の食事内容を全体で話し合い、問題点を抽出してから、解説して問題提起し、各自考えてもらった。
- さらに班ごとに、嫌いな食事や苦手な食材をあげてもらい、小学校低学年の児童を対象に「苦手な食材を克服する方法」と題して、A3サイズの画用紙10枚をめどに紙芝居を作る課題を与えた。
- 絵や図、セリフなどは自由に作成させ、最終的には発表会を行った。

団体の紹介

県立平塚農業高等学校食品科学科

団体連絡先

住所 平塚市達上ヶ丘10-10

電話 0463-31-0944 / ファクシミリ 0463-34-9384

取組名

保育所モナミ桑原の毎日の食育

実施団体名

保育所モナミ 桑原

取組内容

- 調理前の季節野菜をそのまま子どもに触れさせ、名前を教える。そして、手ざわり、においなどを知る。
- 最後に、保育士の号令で「おいしい給食にしてください！」と子どもたちと言いい調理員に手渡しする。
- 調理師は、「はい。わかりました！」と優しく返答する。
- 子どもたちは、調理師が調理する姿を見ながら過ごす。
- 給食時は、メニューの復唱をして料理名に触れる。

これらのことを、毎日取り組んでいます。

団体の紹介

保育所モナミ桑原
(平成 29 年 4 月開所の小規模保育園)

団体連絡先

保育所モナミ桑原園
住 所 〒250-0862 神奈川県小田原市成田 794
電 話 0465-43-7799 / ファクシミリ 0465-43-7799

